

No.60 2014, Jan.

1 月・26 新年号

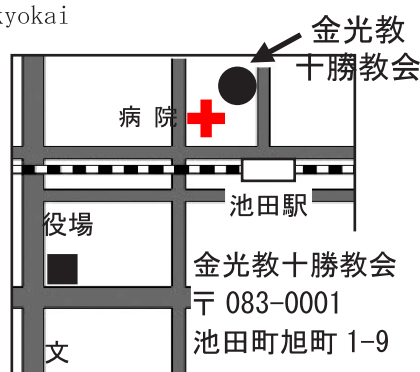
<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

☎ 015-572-2322
fax 015-572-4213

十勝教会



だより 60



平成二十六年を迎えて 本当の信心をさせていただく
「天地に生きる人」の生き方を求めていきましょう

平成二十六年、西暦二〇一四年、そして教祖生誕二百年、教会創立九十四年の新春を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年も十勝教会では教会の信心目標として「神様の働きの中、天地の中に生かされる人として、本当の信

心をさせていただく」ことを掲げていきます。

○

さて、金光教の神様は「天地金乃神」様です。天地金乃神の「天地」とは、読んで字の如く「天」と「地」であり、私たちが暮らしている世界そのものを指し、その御神体は「天地」そのものです。

ここで、「天地」について考えてみましょう。私たちが「天地」と言う言葉を聞いてイメージするのは「宇宙」や「地球」など自然世界を指すことが多いと思いますが、金光教の「天地」とは、私たちが暮らす世界のことでではなく、その世界に暮らす生き物、そこにある全ての物をまとめて「天地」と言います。例えてみれば、宇宙に浮かぶ大きな石の塊だけを「地球」と呼ぶのでは

無く、そこに住む生物、水や空気や石など全てを併せて「地球」と呼ぶようなものです。

○ 「カレーライス」を思い浮かべてみてください。カレーライスには、野菜、お肉、ごはん等が入っています。ただそれだけでは別々の食材ですが、そこにカレー粉を含めた調味料を加え、調理することでカレーライスになります。カレー粉だけではカレーラ



イスではありません。

私たちが暮らすこの世界も人間を含め様々な生き物や物質が存在します。それら一つ一つは別々の存在ですが、それらが一緒にいることで「天地」という大きな存在になります。

カレーライスの材料同様、私たち人間一人ひとりも「天地」の一部なのです。そして、それらを「天地」としてまとめる働き、カレーライスなら調理人であり、レシピにあたるのが神様の働きなのです。

天地金乃神様の御神体は「天地」そのものであると書きました。そして、私たち一人ひとりも「天地」の一部です。そうすると、私たち人間も神様の一部であることになります。実は、私も、あなたも天地金乃神様の一部なのです。

○ ここで、もう一度カレーライ

スを思い浮かべてください。カレーライスが美味しいのはカレーを作る材料がそれぞれの味を出し合うからです。そして、プロの調理人が作るカレーが何時食べても美味しいのは、調理する人が考えた決まったレシピがあるからです。そこでは、材料のうち何か一つが抜けても、あるいはどれかが多すぎても絶妙な味を作ることとは難しいはずです。

「天地」についても同じ事が言えます。神様という調理人は、「天地」の中身である人間や生物など、いろいろな材料の持ち味を活かして調理し、バランスの取れた「天地」を作ろうとしています。それぞれの材料が材料としての働きを果たすことでおいしい料理ができあがるのです。

○ ところが、その中で「ある材料」だけが主張をしすぎたり、ある

いは悪くなっていたりすれば、そのバランスは崩れ、せっかくの料理が台無しになってしまいます。

私たちは天地の中の人間であると同時に天地の一部でもあるのです。つまり天地の中にいる他の様々な生き物や物たちと共に役割を果たすことではじめて「人間」としての存在になります。

これはもつと身近な「家庭」、「職場」、「学校」、「地域」などにも当てはまることです。「家庭」の中、あるいは「職場」での「私」は家族があつて、あるいは同僚やお客さんがいて「私」の立場があり役割があります。学校や地域もみなおなじことです。そして「他の人」たちにもそれぞれ立場、役割があるはずで、そして、私たちが暮らし、その一部でもある「天地」とは、地球のような大きなものから「家庭」や「職場」といったもので、

それぞれが、そのときそのとき過ごす（暮らす）世界こそが「天地」なのです。



「天地」というカレーライスの材料である人間一人ひとりが、それぞれの立場で役割をしっかりと果たせば、カレーライスは美味しくなる、会社の業績が上がる、家族が仲良く暮らすことができるようになるのではないのでしょうか。そしてそれは神様が願う「本当の天地」になっていくということであり、私たちは自身も安心と幸せを得ることに他なりません。ですから私たちは、「天地」の中の人間としての働き・役割を果たさなければなりません。そしてそのためには一人ひとりが「天地」の中での役割を知らなければなりません。「天地」の中での役割を求め実践してゆく、それこそが私たちの信心です。

教祖生誕二百年のお年に触れ、教祖様が遺された「み教え」、「御理解」を改めていただきなおし、天地に生きる人としての役割を学ばせていただきましょう。

平成二十六年元日

神人あいよかけよの生活運動

願 い

御取次を願ひ 頂き

神のおかげにめざめ

お礼と喜びの生活をすすめ

神心となって人を祈り助け導き

神人の道を現そう



金光教

教会 日 誌

平成25年11月1日から12月31日まで

写真・大祭前の大掃除

11月3日 北見教会大祭、交流参拝。

11月3日 夕張教会大祭、衛先生祭主・教話奉仕。

11月3日 帯広市、I家、旬日祭。

11月10日 帯広教会大祭、交流参拝。

11月10日 大祭前大掃除、大祭打合せ。

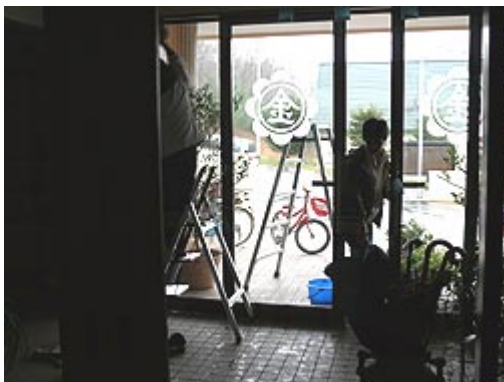
11月10日 帯広市、I家、合祀祭、納骨祭。

11月13日 函館教会大祭・三代教会長夫人合祀祭、信徒総代表参拝、衛先生参列。

11月17日 教祖百三十年生神金光大神大祭。

12月5日 薫別講社・教祖百三十年生神金光大神大祭。

12月31日 越年感謝祭。



写真・大祭準備御用奉



写真・教祖百三十年生神金光大神大祭



(右から) 教会長夫人、教話講師、特別参拝者、教会責任役員玉串奉奠



(右から) 隣接教会代表、信徒会代表、信徒総代玉串奉奠



教話・亀田教会副教会長 立教神伝奉読・網走教会長

吉備舞奉納



十勝教会この後の予定

信徒会総会・新年会	2月2日(日)
春季霊祭	3月21日(祝)
大祭前大掃除	4月 6日(日)
天地金乃神大祭	4月13日(日)
薫別講社大祭	4月 5日(土)

平成 26 年度 関係教会大祭日程

釧路	5月25日	10月19日
北見	5月 3日	11月 3日
帯広	4月20日	11月 9日
網走	5月18日	10月26日
滝上	6月 8日	11月 2日
夕張	4月29日	11月 3日
函館	5月13日	11月13日